

2021 年 3 月号

県連ニュース

県連 2020 年度 第 7 回理事会の報告

日時・場所：2021 年 3 月 6 日（土）10 時～12 時
広島市牛田公民館

出席者：安達、小形、宮本、滝、西田、皿家、坂井、
部谷、香川、吉田、中司（記録 滝）

検討議題・報告事項

1. 広島西ウインドファームについて

- ・電源開発(株)が(仮)広島西 WF の「計画段階環境方法書」を 1 月 26 日に提示。意見書提出締切 3 月 11 日。
- ・県内の山岳団体に対応を働きかけている。
- ・県連として意見書提出した。佐伯山の会では個人意見書という形で集めている。
- ・各会、個人で沢山の意見書を出してほしい。

2. 初級登山学校について

- ・4 月開校予定で受講生募集中。スタッフ会議を開いて準備している。
- ・県連、各会の HP で宣伝。
- ・宣伝チラシ 2,500 枚作成してショッピングセンター、公民館などに置いてもらっている。
- ・名刺サイズのチラシも作成したので山行時に宣伝に使ってほしい。

3. 総会の準備について

①議案書について検討した

- ・各専門部報告及び方針
- ・決算予算及び会計監査
- ・活動報告とスケジュール
- ・メッセージを労山事務局に依頼する

②総会の進行について担当予定者を検討した

司会・議長・選管・受付
進行表内容は例年通りで準備する

③来年度理事会体制について理事会案を検討した

会長 副会長 理事長 副理事長 各会推薦理事の確認

4 その他

①全国評議会（2/20～21） 小形が Zoom で出席

- ・登山時報は電子化の方向ですすめる、など

②県連救助隊訓練

- ・コロナ禍で中止。救助隊役員 3 名で事前訓練を 1 月 31 日に実施した。（県連ニュース 2 月号参照）

<もくじ>

・第 7 回県連理事会議告	1
・(仮)広島西 WF 環境アセスに意見書	2
・労山全国評議会報告	3
・大山弥山尾根西陵登攀報告	4
・県連関係スケジュール表	6

広島県勤労者山岳連盟 第46回定期総会

を

3月28日(日)(9:30~12:00)に 広島市中央公民館3階大集会室3にて開催します

各会から代議員の出席をお願いします。

「(仮称) 広島西ウィンドファーム事業 計画段階環境方法書」への意見

〈環境の保全の見地からの意見〉

令和3年3月6日

広島県勤労者山岳連盟 会長 安達忠雄

1. 景観に関すること

十方山は、その名のごとく山頂から十方(八方と上下)の山岳展望が良いことで知られた山です。立岩ダムを隔てた南側の市間山~立岩山の稜線などに人工物である巨大風車が林立すると自然景観が壊されます。これらの稜線への風車の設置はしないでください。

また、安芸冠山頂上北側にある崖上の展望地は登山した際に昼食や休憩場所などになります。ここについても景観調査地点に加えて環境影響評価をしてください。(添付資料*1参照)

2. 人と自然との触れ合いの活動の場に関すること

対象事業実施区域内には、昔から地元の登山愛好者に親しまれている市間山、立岩山、湯来冠山への登山道が存在しています。また、市間山と立岩山の縦走コースは知られざるブナの聖地として知られています。【要約書】P89ではこの縦走コースのうち坂原から立岩山までのコースが欠落しています。工事中も含め今回の事業実施により、これらの貴重な登山道とその周辺の山岳自然を損壊しないでください。(添付資料*2~4参照)

3. 巨樹・巨木に関すること

対象事業実施区域内の広島市佐伯区と安芸太田町界上の1020.5mピーク周辺にブナの巨木が存在します。この巨木に悪影響を及ぼさないように事業実施をしてください。(添付資料*5参照)

添付資料

- *1 安芸冠山位置図(【要約書】P85の景観調査地点位置図にプロット)
- *2 「ちゅうごく山歩き Vol.2」 中国新聞社 2014年7月発行「立岩山・市間山」(P.20)
- *3 「中四国9県 里地・里山を歩こう パート2」 南々社 2015年3月発行「市間山のブナ林」(P.24~25)
- *4 「立岩山~市間山縦走コース」(2020年11月踏査)
- *5 「ブナの巨木」位置図と写真(2020年11月撮影)



日本勤労者山岳連盟 全国評議会の報告

第34期第1回評議会が2021年2月20日(土)13:00～2月21日(日)12:30にホテル・コンチネンタル(東京都府中市)を会場に開催されました。評議員はZOOM(インターネット会議ソフト)での参加も事前に登録することで認められていました。広島県連はZOOMで参加しました。当日の参加者は、評議員総数54名に対して、評議員の会場出席者17名、リモート参加者17名、委任状18通で計52名、欠席は2名でした。また、正副会長、理事、会計監査など役員が34名(リモート参加4名を含む)、他に事務局・専門委員・傍聴など9名が参加しました。



会場のようす。前方のスクリーンにZoom参加者が写し出されている

全国連盟事務所が現在、個人名義で不動産登記されているのを、一般財団法人を設立し、そちらに移行することや事故対策第一種基金廃止の提案等が承認されました。

討議された主なものは次の2つです。

(1) 女性と登山

女性委員会で“委員長の退任を迫ったこと”に関しては、女性委員会のメンバーや一般会員等から様々な意見が出され、議案書の提案内容を最初の2行を除いて削除し、女性委員会は再編成を検討することが確認されました。

(2) 機関誌委員会

登山時報はコロナ禍で定例集会が開かれないので団体購読の場合は購読者に届かない状況から、全国連盟ホームページから閲覧できるようにした。しかし、無料で読めるのなら購読の必要がない等の意見が寄せられ、今後の購読者数の減少が予想される。登山時報のデジタル化等については今年の6月の機関誌担当者会議等で検討し、来年の総会で提案する。

2日目は、各地方連盟の活動が報告されました。広島県連は「広島西ウインドファームに対する取り組み」を報告しました。

ZOOMは、機器の不調で中断する、採決の途中で席を外すといったことがあり、不慣れな面もありましたが、全議案が賛成多数で承認されました。

(記録：小形正則)

大山北壁 弥山尾根西稜日帰り登山 (10.5ピッチ)

当初の日程は 2/27~28 だったが、A 達の個人的都合で一週間延期、3/6 県連関係の会議 2 つを午前・午後に済ませてからのあわただしい出発となった。

今回、現地へは松江道経由でなく、庄原 IC で下りて旧来からの国道を行くルートにした。片道約 205km、3 時間少々の行程であった。前回 2/23 大山頂上ピストンの時の松江道ルートと比べ、時間的にはほとんど変わらなかったが、片道 25km の短縮、深夜割引の高速料金も片道 900 円安いので、道路状況が良い場合には庄原インター～下道のルートが断然有利である。

今回山行の主要目的はマルチ登山における新規購入無線(イヤホンマイク付)の有効性の確認であったが、別の様々な面でも教訓を得ることが出来た。

また、運良く？絶好天に恵まれ、しかもルートの先陣を切って予定より早く頂上に抜けるという出来すぎの登山であった。お天道様とパートナーに感謝したい。

日 時；2021 年 3 月 7 日 (日) メンバー；CL：A 達、T 屋 (佐伯山の会)

行 程；A 達宅 (0：00) T 屋宅 (0：10) 宮島 SA～庄原 IC～南光河原駐車場 (3：15～5：00、仮眠・朝食・準備) 弥山尾根西稜下部取付 (7：30) 弥山三角点 (11：45～55) 弥山頂上碑 (12：00～50、昼食・装備整理) 南光河原駐車場 (夏道経由 14：35～50) T 屋宅 (18：10) A 達宅 (18：20)

記 録；

予定どおり 7 日 0 時に自宅を出発、T 屋さんをピックアップし、宮島 SA から山陽道へ。庄原 IC から国道 183 号に降りるが、途中の道には雪もなく、南光河原駐車場へ 3 時過ぎ頃には到着した。1 時間ほど仮眠し、4 時過ぎから軽めの朝食、準備をして 5 時頃に駐車場を出発する。



大神山神社で好天と無事下山を祈り、元谷林道終端で登山装備を身につける。4 人パーティが追い抜いて行ったが元谷に入ったところで装備を着け始めた。装備を着けるのは足元が確実に平らな林道終点の方がいいと思う。

弥山尾根にアプローチするのに我々は元谷小屋を経由したが、先ほどの 4 人パーティは斜上するルートを取り、我々より先行していった。これ

からはそうすることにしたい。

明るくなった弥山尾根に近づくと 2 人の先行パーティが西稜の取付きへ登っているのが見える。また、別山バットレスでは数パーティの声が聞こえている。先ほどの 4 人パーティは、どうも東稜に向かうらしい。西稜への取付きは 2 番目だ。今回は早めに頂上まで抜けることが出来そうなのでうれしくなる。

先行パーティと同様、弥山尾根稜線までの雪面をノーロープで登っていると突然先行パーティの 1 名が稜線直下から我々の横を滑り落ちていった。150m ぐらい滑落し斜面が緩くなった木の根のところをやっと止まった。しばらくすると動き出し、先ほどの 4 人パーティのメンバーが下から近づいて安否を確認していたが、大丈夫のようなので我々も登山を続けることにする。

稜線に着くともう 1 人のメンバーは滑落したメンバーを待つとのことだったので我々が先陣を切ることになった。まず、1 ピッチ目は A 達がリード、9mm60m のロープでツルベ登山を開始する。雪面は適度に堅く登

りやすい。無線でのロープ残長の連絡により、ほぼ60m目一杯使用できた。これなら効率よく登れそうである。確保点に着いてからの相互の連絡も確実である。無線機使用のメリットを1ピッチ目から感じた。

登るにつれ好天となり、木々の霧氷や遠方に広がる雲海、足元の後続パーティや隣の別山バットレスを登るパーティを見ながら、また、コールを聞きながらのワクワク感満載のクライミングとなった。別山バットレスはかなり雪が融けていて岩壁が黒々としていた。



5ピッチ目のミックスの岩稜がこのルートのコア部である。最後に大きい浮き石があったので落とさないように注意した。

ここを過ぎると雪稜と雪壁がほぼ交互に現れ、時々ブッシュをかき分けながら11ピッチ目に弥山三角点傍の稜線に抜けることが出来た。ここで記念撮影、さらに弥山三角点まで行き、剣ヶ峰方面の縦走路の景色をカメラに収める。縦走している登山者が2人くらい確認できた。また、三角点まで来て写真を撮る一般登山者も多かった。



山頂碑下の板敷は登山者で結構賑わっていた。風がなく暖かいので小屋には入らず、ここでゆっくりと簡単な昼食を摂ることにした。食事後登はん装備の整理をして足に結構な疲労を感じながら夏道を下山、途中、1回転倒して脛を強打した。南光河原駐車場に下りて佐伯パーティ(3パーティ6名)の様子を聞くと2パーティは尾根の中間辺りを登はん中で、1パーティは取付きから下山したとのことだった。天候も特に問題はないようだし、我々も寄る年波で相当疲れていたため早々に帰路についた。

<気付き・反省点>

*早出

- 早ければ良いというものではないが、弥山尾根の下部辺りで夜が明け、雪面の状況(雪崩の可能性や硬さなど)が判断できるぐらいが望ましいと思う。
- 我々は南光河原駐車場を5時頃に出発した。

*登はん装備の装着場所

- 今回は元谷に入る手前の林道終点で装着した。元谷より平坦で雪も少ない場所なので良かった。
- 弥山尾根下の雪面は急で、装着しにくいし、雪崩の可能性もあるので避けた方がいいと思う。

*弥山尾根へのアプローチ

- 元谷に入ったら行者尾根コースを元谷小屋に向かうのではなく先行パーティが辿った左上するルートの方が早くて効率的だと思われる。次回からはそうしたい。

*1ピッチ目の確保

- ノーロープの先行パーティの1名が、原因は判らないがスリップして約150m滑落した。初級レベルのメンバーがいる場合にはロープによる確保が必要だろう。

*半マスト確保

- リードを確保する時のロープの繰り出しに慣れれば、確保の切替えが効率的である。
- 確保器を落としたり、無くす場合もあるので、半マストでも確保出来るようにマスターしておきたい。

*無線機の有効性

- 交信操作に慣れるまでは面倒だが、確実かつ正確に連絡が取れるので効率性と安全性の向上が図れる。
- ロープ残長の連絡は送信だけにとどめ、返信はしない方が安全で効率的である。

*雪崩3点セット(ビーコン、プローブ、スコップ)

- 今回は、雪面が硬く雪も少なかったため不要だった。

(報告:安達)

2021年3月～4月 県連関係スケジュール表

※太字は全国連盟・中地協・県連関係行事を示す。

3月			4月		
日	曜	内容	日	曜	内容
6	土	臥龍山(佐H)	10	土	理事会①(拡大)
6-7	土-日	救助隊ステップアップ山行「大山北壁」	12	月	初級登山学校①「登山の魅力と歩き方」
7	日	三つ丸子山(広) 古鷹山(や) 大山北壁(佐V) 白滝山 大師山(呉) 岩国城山(北)	19	月	初級登山学校②「登山の服装・装備」
9	火	岩トレ42(佐V)	25	日	初級登山学校実技①「武田山」
13or20	土	文殊山-嘉納山-源明山(桃)			
14	日	青野山(や) 二葉山～牛田山(令) 山域研究⑨西中国山地(佐V)			
16	火	岩トレ43(佐V)			
20	土(祝)	鉢巻山～灰が峰(佐H)			
21	日	城山・錦帯橋(呉) 岩トレ44(佐V)			
27	土	大平山[佐木島](北) 岩トレ45(佐V)			
28	日	第46回県連定期総会			

各会 山行 担当者 等連絡 先	団体	広島労山	やまぼうし	佐伯山の会 (ハイキング・教育)	佐伯山の会 (バリエーション)
	名前	宮本 隆志	西田 文雄	舞田 健	安達 忠雄
	電話	090-6411-3497	082-262-5376	0829-39-0226	090-5376-7050
	E-mail	h-sashsekkei@do6.enjoy.ne.jp	nisida-026@helen.ocn.ne.jp	takashi.maitaken@gmail.com	t1t07mf1@ene.megaegg.ne.jp
	団体	呉労山	県北山の会	桃源郷クラブ	令峰クラブ
	名前	二井原 康夫	奥田 米男	香川 佳久	佐々木 英幸
	電話	090-1334-3936	090-4655-6680	090-7503-3372	090-8363-1001
	E-mail	niih-70eka@wave.plala.or.jp	m12ony8f7b@hi2.enjoy.ne.jp	splitcane@snow.megaegg.ne.jp	hidesasaki256@gmail.com
		広島県連	宮本 隆志	090-6411-3497	h-sashsekkei@do6.enjoy.ne.jp

県連ニュース2021年3月号 (発行日2021年3月15日)

発行; 広島県勤労者山岳連盟 編集責任者; 滝史郎

〒735-0006 安芸郡府中町本町1-10-55-201 E-mail: info@hpwaf.main.jp